



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年12月4日

上場取引所 東

上場会社名 モロゾフ株式会社

コード番号 2217 URL <http://www.morozoff.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 信二

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長

(氏名) 尾崎 史朗

TEL 078-822-5000

四半期報告書提出予定日 平成27年12月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の業績(平成27年2月1日～平成27年10月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	18,325	2.6	△156	—	△48	—	△81	—
27年1月期第3四半期	17,856	△1.3	△382	—	△289	—	△245	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第3四半期	△2.24	—
27年1月期第3四半期	△6.76	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年1月期第3四半期	20,178		12,319		61.0
27年1月期	20,955		12,454		59.4

(参考)自己資本 28年1月期第3四半期 12,319百万円 27年1月期 12,454百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年1月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年1月期	—	0.00	—	—	—
28年1月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	0.2	730	0.4	830	3.6	450	11.8	12.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年1月期3Q	36,692,267 株	27年1月期	36,692,267 株
28年1月期3Q	509,866 株	27年1月期	450,916 株
28年1月期3Q	36,212,544 株	27年1月期3Q	36,246,745 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。業績予想に関しましては、2ページ【当四半期決算に関する定性的情報】(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	7
販売実績	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀の経済政策を背景に、企業収益や雇用情勢に改善の動きがみられるなど、緩やかな回復傾向にありましたが、円安による輸入物価の上昇や中国をはじめとする海外景気の下振れ懸念などもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社は企業スローガン『こころつなが。笑顔かがやく。』を掲げ、お菓子を通して心豊かな生活をお届けすることを基本姿勢として、商品の開発・改善により売上向上に取り組むとともに、安心、安全かつ高品質な商品をお客様に提供し続けることに注力いたしました。

売上高につきましては、バレンタインデー、ホワイトデーが土曜日となることによる影響が懸念されましたが、堅調に伸ばすことができました。さらに、焼菓子やチルドデザートの上好調もあり、当第3四半期累計期間の売上高は18,325百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

損益面におきましては、原材料費の上昇などはありましたが、増収に加え、商品設計の見直しや生産性向上への取り組み、経費削減などに努めたことにより、営業損失は156百万円（前年同期は382百万円の損失）、経常損失は48百万円（前年同期は289百万円の損失）、四半期純損失は81百万円（前年同期は245百万円の損失）となりました。

なお、本年4月から退職給付制度の一部を確定拠出制度へ移行したことに伴い、退職給付制度改定益30百万円を特別利益に計上しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[洋菓子製造販売事業]

干菓子につきましては、バレンタインデーやホワイトデーをはじめとするイベント商戦が堅調に推移したことに加え、昨年9月にリニューアルした「ファヤージュ」などの焼菓子が好調に推移したこともあり、前年同期を上回る売上高となりました。

洋生菓子につきましては、チルドデザートは素材をいかした期間限定プリンの発売などにより好調でしたが、ケーキなどは低調に推移し、半生菓子も今年9月にリニューアルした「ブロードランド」の復調はあったものの累計期間では売上高が減少したため、洋生菓子全体の売上高は前年同期を下回りました。

その結果、当事業の売上高は16,981百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

[喫茶・レストラン事業]

喫茶・レストラン事業につきましては、菓子売店と喫茶を併設した「カフェモロゾフ イオンレイクタウン k a z e 店」（埼玉県越谷市）の新規出店、メニュー再編、集客イベントの開催などにより売上拡大を図りましたが、一部店舗の退店に伴う売上減少の影響もあり、売上高は1,344百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

(業績の季節的変動等について)

当社の売上高は季節的変動があり、バレンタインデー、中元、歳暮、クリスマスなどの大きなイベントが少ない第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ減少する傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ776百万円減少し、20,178百万円となりました。資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の減少額3,452百万円、現金及び預金の増加額893百万円、仕掛品の増加額711百万円、有価証券の増加額700百万円、投資有価証券の増加額100百万円等であります。負債は前事業年度末に比べ640百万円減少し、7,859百万円となりました。これは主に電子記録債務の減少額577百万円、長期借入金の減少額201百万円、退職給付引当金の減少額179百万円、未払法人税等の減少額170百万円、支払手形及び買掛金の増加額426百万円、賞与引当金の増加額241百万円等によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ135百万円減少し、12,319百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少額226百万円、その他有価証券評価差額金の増加額91百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月31日に発表いたしました平成28年1月期の通期の業績予想について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第3四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しております。なお、この変更による四半期財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	658,011	1,551,619
受取手形及び売掛金	5,456,917	2,004,096
有価証券	1,600,412	2,300,752
商品及び製品	2,188,970	2,160,688
仕掛品	227,703	939,378
原材料及び貯蔵品	421,103	461,053
その他	285,650	601,472
貸倒引当金	△21,600	△7,900
流動資産合計	10,817,169	10,011,160
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,399,705	2,350,141
土地	3,234,337	3,234,337
その他(純額)	1,588,738	1,569,149
有形固定資産合計	7,222,781	7,153,628
無形固定資産	110,699	97,873
投資その他の資産		
投資有価証券	2,078,327	2,178,401
その他	726,639	737,851
貸倒引当金	△100	△100
投資その他の資産合計	2,804,866	2,916,152
固定資産合計	10,138,347	10,167,654
資産合計	20,955,517	20,178,815

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,254,856	1,681,404
電子記録債務	1,742,929	1,164,966
短期借入金	2,118,400	2,118,400
未払法人税等	272,125	102,104
賞与引当金	232,370	473,985
その他	1,509,098	1,249,804
流動負債合計	7,129,779	6,790,663
固定負債		
長期借入金	283,800	82,500
退職給付引当金	737,959	558,774
環境対策引当金	17,934	17,934
その他	331,128	409,906
固定負債合計	1,370,821	1,069,115
負債合計	8,500,601	7,859,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,737,467	3,737,467
資本剰余金	3,921,429	3,921,429
利益剰余金	4,164,797	3,938,543
自己株式	△118,616	△142,021
株主資本合計	11,705,077	11,455,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	492,914	584,350
土地再評価差額金	256,924	279,266
評価・換算差額等合計	749,838	863,617
純資産合計	12,454,916	12,319,036
負債純資産合計	20,955,517	20,178,815

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
売上高	17,856,351	18,325,483
売上原価	9,576,490	9,819,470
売上総利益	8,279,860	8,506,013
販売費及び一般管理費	8,662,365	8,662,385
営業損失(△)	△382,505	△156,371
営業外収益		
受取利息	2,420	2,021
受取配当金	24,562	29,610
利用分量配当金	59,039	71,707
その他	44,415	41,319
営業外収益合計	130,438	144,658
営業外費用		
支払利息	31,590	27,633
その他	5,442	9,337
営業外費用合計	37,033	36,971
経常損失(△)	△289,099	△48,684
特別利益		
固定資産売却益	3,749	—
投資有価証券売却益	31,075	620
退職給付制度改定益	—	30,808
特別利益合計	34,824	31,428
特別損失		
固定資産除売却損	18,366	34,047
特別損失合計	18,366	34,047
税引前四半期純損失(△)	△272,642	△51,303
法人税、住民税及び事業税	108,497	63,505
法人税等調整額	△136,107	△33,521
法人税等合計	△27,610	29,984
四半期純損失(△)	△245,031	△81,287

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメント別商品群別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成27年2月1日 至 平成27年10月31日)	前年同四半期比 (%)
洋菓子製造販売事業計 (千円)	16,981,277	103.0
(内訳)		
干菓子群 (千円)	12,281,552	104.6
洋生菓子群 (千円)	4,062,760	98.3
その他菓子群 (千円)	636,964	103.8
喫茶・レストラン事業計 (千円)	1,344,206	97.9
合計 (千円)	18,325,483	102.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

洋菓子製造販売事業における主な製品を商品群別の区分により説明しますと、以下のとおりであります。

区分 (商品群)	主要品目
干菓子群	(チョコレート) プレミアムチョコレートセレクション、フェイバリット、りんごのチョコレート、ラウンドプレーン等。
	(キャンディ) ファンシーキャンディ、ココアピーナッツ等。
	(焼菓子) ファヤージュ、アルカディア、オデット等。
	(デザート) ファンシーデザート、凍らせてシャーベット、フルーツオブフルーツ、白いチーズケーキ等。
	(詰合せ) ハッピーパーティ、サマーロイヤルタイム、サマーイング等。
洋生菓子群	(チルドデザート) カスタードプリン、季節のプリン、季節のゼリー、カフェデザート等。
	(ケーキ) チーズケーキ、チョコレートケーキ、ミニケーキ等。
	(半生菓子) ブロードランド、アーモンドケーキ等。
その他菓子群	焼きたてクッキー、グラスオショコラ等。